

2012年3月23日

各位

日本特殊陶業株式会社
取締役社長 尾堂 真一

酸素センサの生産能力増強について

日本特殊陶業株式会社（社長：尾堂真一、本社：名古屋市瑞穂区）はこのたび、当社センサ事業の主力製品である酸素センサの中核部品であるセンサ素子の生産能力増強を決定しましたので、お知らせします。

記

増産決定の経緯

酸素センサは、現在の排ガス浄化システムの空燃比制御において重要な役割を担う機能部品として広く普及しているセンサです。

自動車用酸素センサの需要は中国はじめ新興国を中心に今後も増加傾向にあります。また世界的な環境保全の流れから二輪車にも排ガス規制が適用され、アジア圏を中心に二輪車への酸素センサ採用も増加していくことから、今後も世界規模で酸素センサの需要は拡大していくものと見ています。

こうした将来の需要拡大に備え安定した供給体制を構築し、高い成長が見込まれるセンサ事業を継続的に成長させるべく、同センサの中核部品である素子の生産能力増強を決定しました。

当社では、このたびの生産能力増強に併せて高効率の生産設備を導入することで生産性の向上を図り、更なる競争力の強化も実現することで、世界トップシェアメーカーとしての地位を揺るぎないものにしていきたいと考えています。

投資の概要

(1) 原料工場建屋新築

生産拠点：当社小牧工場内
建屋規模：延床面積 約 7,300 m²
投資金額：約 22 億円（建屋・設備）

(2) セラミックセンサ増床改築

生産拠点：セラミックセンサ株式会社（当社 100%出資）内
増床規模：延床面積 約 2,100 m²
投資金額：約 30 億円（建屋・設備）

(3) 生産能力

現状能力から約 1.5%増

(4) 生産開始

2013年5月から順次開始

以上

(お問い合わせ先)

総務部広報課 中島 英次

TEL:052-872-5896

(参考資料)

【新原料工場 完成予想図】



【酸素センサ OZAS®-S】

